

# YOUTH MANNA

Grace  
Community  
2024  
**Be**

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。  
使徒の働き 2章42節

2024/11/25(月)

## イザヤ53章

- イザヤを通して預言された「彼」は、どんな姿をしていた？
- 「彼」が受ける苦しみは誰の何のためだったと書いてある？
- 人々はこの方の存在も、なされることも全く理解しなかったと語られている。それほどに、天の父なる神様がイエス様を通してなされることは驚くべきことだったんだ。イエス様の十字架が自分のためだったことを覚えて、心からの感謝を捧げる祈りをしよう。

2024/11/26(火)

## イザヤ54章

- 神様とイスラエルの関係が夫婦になぞらえて語られているね。イスラエルの背きは神様の心を痛め続けてきたけれど、それでも神様は「永遠の真実の愛をもって、あなたをあわれむ」と語られる。あなたは自分が神様に愛されていると信じれているだろうか？
- 攻める者も、彼らが作る武器も、神様が創造したものにすぎず、何の役にも立たなくなると神様は語られる(15-17)。今君の目の前にある問題は何か？それらは神様よりも大きいものだろうか？  
全てを造られた神様に、今心にあることを祈ろう！

2024/11/27(水)

## イザヤ55章

- 水や食料は私たちに必須のものだね。だけど、神様はここで単なる飲み食いのことを言っているのだろうか？神様が満たそうとされているものが私たちの霊的な飢え渇きであるならば、あなたはその必要をどれだけ感じているだろうか？
- ヨハネ7:37を読もう！イエス様を求めるよりも、他のものを求めているということはないだろうか？
- 8-11節を読もう。神様により頼むこと、期待することを諦めてしまっているところはないだろうか？神様を求めることを最も大切なこととして歩もう！

2024/11/28(木)

## イザヤ56章

- 3節に誰と誰が言っていないと書かれているかな
  - この箇所はこれまで救われなかった人たちへの救いと、祭司や預言者たちが仕事をしてないことについて書かれているんだ。当時イスラエルでは異邦人や宦官は神のまえに立てないと考えられていたけれど、神様は救いと助けをイザヤ書で約束してこられたね。神様から異邦人も宦官も、除外される対象ではなく、神様の恩恵を受ける一人になるんだ。
- 今日は、神様の前に立つ人はどんな人か考えてみよう。

2024/11/29(金)

## イザヤ57章

- 11vを読もう。イスラエルの人々が恐れず、思い出しもしなかったのは誰かな？なぜ人々は思い出しもしなかったのだろう？
- 当時の人々は神様が語ってくれないし、よく分からんから、分かりやすく助けてくれる外国の力や占いに頼ったよ。また本当に恐れるべき主でなく、人の反応を恐れて助けてくれるか不安になった。僕らも神様が遠くに感じる時、同じような不安になるかもしれない。最善の助けをくれるのは、やっぱり神様なんだって今日確認できたらいね。

2024/11/30(土)

## イザヤ58章

- 具体的にイザヤ書の時代では断食をすること、私たちにとっては礼拝やセルに出たり、奉仕をしたりすることなど外から見える従い方に対して、今日の箇所は厳しいことばが書かれているね。それは実際に行動で礼拝しながら、愛がそこにはないからなんだ。
- 神様を愛すること、人を愛することなしの礼拝や祈り、奉仕は意味がないことをはっきり確認させられる。でも、私たちは自分の力で愛を持ち続けることは難しいよね…
- だから、私たちには神様が必要なんだ。神様の愛と憐れみを自分自身が受け取って、それを流す者へと変えられることを祈り願っていこう。

2024/12/1(日)

## 詩篇24篇

- 今日の箇所は、ダビデが契約の箱を迎え入れた際の賛歌とされ、創造主である神様をほめたたえ、罪深い自分を認めつつ神様を慕い求める姿が描かれています(IIサムエル6章12-19節参照)。
- 契約の箱は神様の臨在を象徴し、キリストが十字架で罪を贖ってくださった恵みを示しています。ダビデの「栄光の王が入って来られる」との歌(7、9節)は、キリストの十字架と復活、そして再臨を指し示しています。キリストは今も私たちの心の扉を叩き、共に歩むことを願っておられます(黙示3章20節)。
- 祈り：家族や友人が神様を信じ、その恵みを受けられますように。